

# サイバー防犯教育授業 授業教材作成要領と授業当日実施要領

学校現場での効果的な授業実施のために

## 第1部

### 授業教材作成に 関わるノウハウ

〈ページ〉

- 授業スライドと台本の位置付け ----- 4
- 授業教材作成のノウハウについて ----- 5
- フォーマットを活用した授業スライドの作成 ----- 6
- フォーマットを活用した授業スライドの作成例 ----- 7
- 低学年対象時に必要な授業スライドの工夫 ----- 8
- 台本の作成および作成例 ----- 9
- 授業スライド作成時に意識する学年特性の違い ----- 10

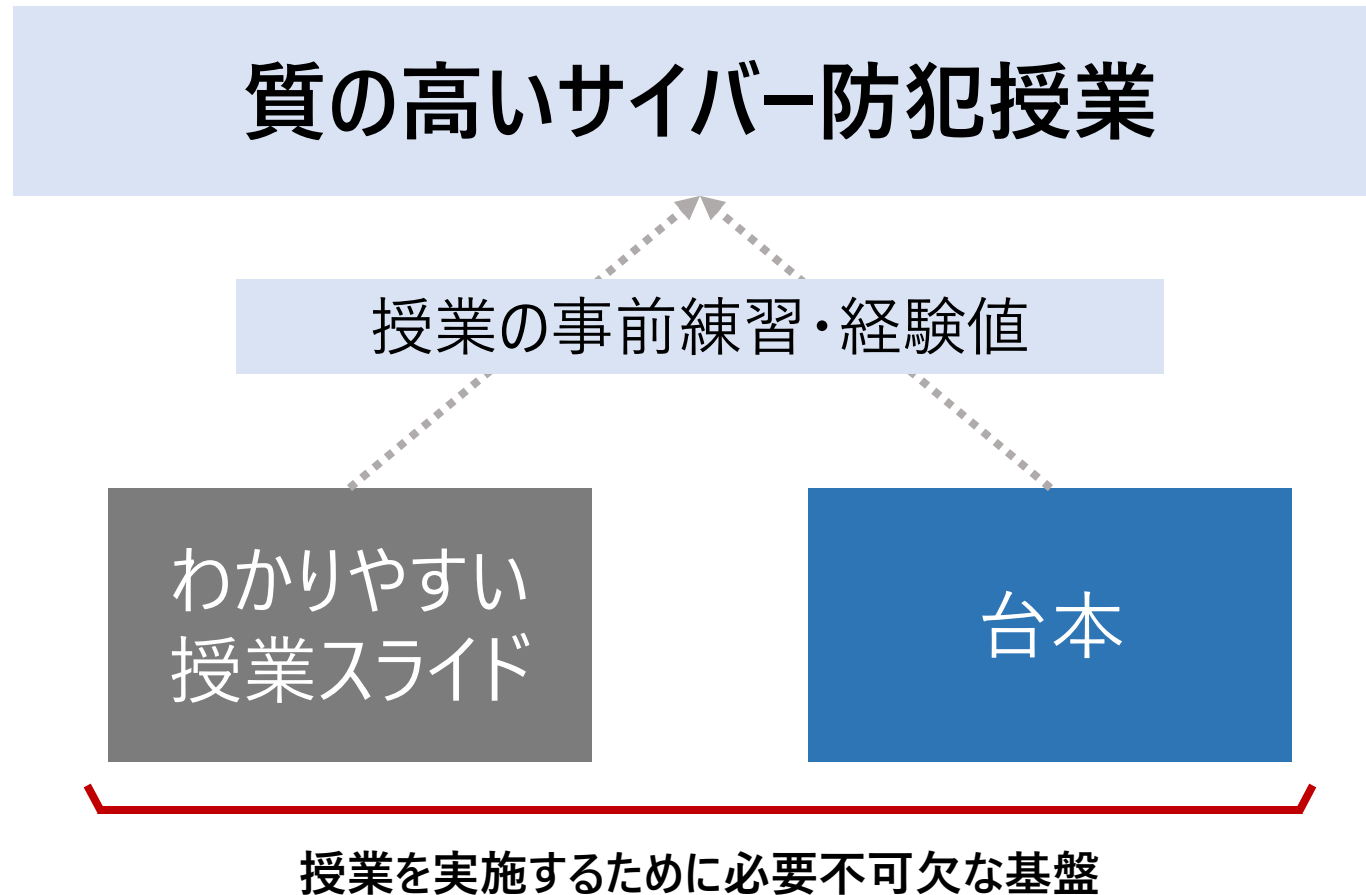
## 第2部

### 実際の授業での ノウハウ

- サイバー防犯授業で抑えるべきポイント ----- 12
- 小学校実施時のポイント ----- 13
- 中学・高校実施時のポイント ----- 14
- その他講師が意識するべきポイント ----- 15

# 1. 授業教材作成に関するノウハウ

質の高いサイバー防犯授業をするために、まずはわかりやすい授業スライドと台本の作成が重要になる



本章では、授業スライドと台本作成時のノウハウを体系的に整理する

## 質の高いサイバー防犯授業

授業の事前練習・経験値

わかりやすい  
授業スライド

台本

授業をする土台としてまず最初に授業スライド・台本を用意する必要がある

# 授業での投影に適した「わかりやすいスライド」を作るためには、フォーマットに従い授業スライドを作成する必要がある

### フォーマット

- スライドのサイズは4：3に設定する
- フォントは28pt以上にする
- 使用する色は4色までにする
- 伝えたい主要なメッセージは1つ/1スライドにする
- なるべくシンプルなスライドを作成し、情報密度を少なくする
- なるべくイラストなどイメージができる素材を入れる

### ゴール

わかりやすい  
授業スライド

## フォーマットを満たしたスライドは視認性が高く、わかりやすい授業スライドの基本になる

### フォーマット

- ☑ スライドのサイズは4 : 3に設定する
- ☑ フォントは28pt以上にする
- ☑ 使用する色は4色までにする
- ☑ 伝えたい主要なメッセージは1つ/1スライドにする
- ☑ なるべくシンプルなスライドを作成し、情報密度を少なくする
- ☑ なるべくイラストなどイメージができる素材を入れる



### 完成イメージ（例）

**なぜ依存してしまうのか？**

皆さんにとって身近なスマホ  
実はタバコ、お酒、薬物に匹敵するほどの依存性がある

キーワードは

**ドーパミン**

An illustration of a person sitting on a light blue couch, looking down. To their left is a small fishbowl with a single fish. To their right is a brown bottle and a blue glass, suggesting alcohol consumption. The background is a blue-to-purple gradient.

小学生など低学年を対象とした授業スライドでは、対象学年の理解度・学力段階を注意した加工を行う

## 注意点

- ☑ 対象学年がまだ習っていない漢字や難しい漢字には、必ずルビを振る
- ☑ 1文は可能な限り短くする
- ☑ 専門用語については、分かりやすい言葉で置き換える  
(授業中に補足してもよい)

## 完成イメージ (例)



## 講師経験の有無にかかわらず、安定した授業を実施するために台本を用意する

### 台本とは

- 授業スライドを説明するセリフをまとめたもの
- 講師間の経験の差によらず、授業内容の統一が可能
- 複数の講師が異なるクラスで同一テーマの授業を実施する際に有効
- 台本にグループワーク時や質問を呼びかけるタイミングなどの注意事項を記載すると尚よい

### 完成イメージ（例）

- ①  
みなさん、「闇バイト」って聞いたことありますか？  
最近ニュースでもよく耳にしますよね。  
今日は、この「闇バイト」って一体どんなものなのか、  
どうして怖いのか、そしてどう防げばいいのかを一緒に考えていきます。
- ②  
まず、「闇バイト」とは  
闇バイトとは、SNSなどを使って勧誘し、犯罪行為を行うことで報酬を受け取るバイトのことです。  
  
たとえば、SNSのメッセージや投稿でこんな言葉を見たことはありませんか？  
  
「1日5万円！スマホだけで簡単！すぐ稼げます！」  
  
多くの場合はこのような言葉で、SNS上で勧誘されます。  
最初は普通の仕事だと思いきみ、犯罪行為だとわからずに始めてしまう事例も多いのです。  
結果的に逮捕される例も少なくありません。
- ③  
多くの闇バイトは、匿名でやりとりできるSNSを使って誘ってきます。  
  
ここで使われるSNSは、おそらくみなさんが馴染みのある、匿名で始められるSNS(Instagram、X、YouTubeなど)よりも、さらに個人が特定しにくいようになっています。
- ④  
では闇バイトで最も多く利用されるSNSを1つ紹介します。  
それは、「テレグラム」というアプリです。  
  
「テレグラム」とは？

## 授業スライドは学年による特性の違いの論点を意識しながら作成する

| 学年   | 小学生  | 中学・高校生  |
|------|--|---|
| ポイント | <ul style="list-style-type: none"><li>生徒の発達段階やSNS利用実態に則した内容を意識する</li></ul>           |   |
| 内容   | <ul style="list-style-type: none"><li>楽しくわかりやすさに重点</li></ul>                         | <ul style="list-style-type: none"><li>内容の深さに重点</li></ul>                          |
| デザイン | <ul style="list-style-type: none"><li>わかりやすい内容が好ましくその日からすぐに実践できるような内容が最適</li></ul>   | <ul style="list-style-type: none"><li>小学生よりも深い内容の理解が可能のため、深い議論のできる内容が最適</li></ul> |
|      |  | <ul style="list-style-type: none"><li>一目見て理解できるデザインにする（フォーマット参照）</li></ul>        |
|      | <ul style="list-style-type: none"><li>文字よりもイラストやアニメーションを多くして集中力を切らさない工夫をする</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>実際のデータやグラフなどを引用し、社会的な視点を育める工夫をする</li></ul>  |

## 2. 実際の授業でのノウハウ

## 全ての授業型に共通するポイントとして、基本的な内容・作法を抑える

| プロセス      | 具体的に行う内容・作法  |
|-----------|--|
| 1 講義前     | <ul style="list-style-type: none"><li>• スライド投影の確認、マイク音等を事前確認する</li><li>• 学校教員へはマイクを渡すサポート等が必要であれば事前に依頼する（大講義型の場合）</li></ul>  |
| 2 導入      | <ul style="list-style-type: none"><li>• 後方の反応を確認しにくいいため、問いかけを多く投げ注目を集める</li><li>• 授業終盤にクイズを行う場合は導入部分で事前に伝えると参加意欲が向上する</li></ul>  |
| 3 グループワーク | <ul style="list-style-type: none"><li>• 事前にグループ分けの方法を決める</li><li>• 講師は巡回しながら議論のサポート・時間配分を行う</li><li>• 課題内容はスクリーンに表示したままにする</li><li>• 挙手で発表者を募り発表してもらい、講師は肯定的なコメントを返す</li></ul> |
| 4 授業まとめ   | <ul style="list-style-type: none"><li>• 質問タイムやクイズ大会を実施する</li><li>• 景品用意のクイズ大会の場合、参加者が多く贈呈者が決まらない場合はじゃんけん等で勝敗を決める</li><li>• 授業後も質問があるかもしれないため、しばらく待機する</li></ul>                |

## 小学校で授業を実施する際に見られる生徒の特徴・対処法を確認する

**特徴①：** 突発的な質問や反応、つぶやきが多く見られる

▶ アニメーションや教材の切り替えを示し、注目を向けると突発的な意見や反応は減少する

**特徴②：** 集中力の個人差が非常に大きい

▶ 問いかけやクイズ、〇〇依存チェックなどを随所に設けて、集中力をリセットする工夫を設ける

**特徴③：** 景品が貰えない際の感情コントロールが難しい

▶ 競争性の高い仕組みが適していないため、全員が参加できる「質問タイム」などの形式が適する

# 中学・高校で授業を実施する際に見られる生徒の特徴・対処法を確認する

**特徴①：** 発言が少なく、授業態度の個人差が大きい

▶ グループワークでの巡回では良い議論ができている班員に発表時での発言を依頼し、発表を促す

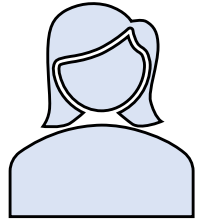
**特徴②：** 授業内容が簡単すぎてしまうことがある

▶ 特に高学年に授業を実施する際は、事前に授業スライドの内容が簡単すぎないか確認する

**特徴③：** グループワークのお題が簡単すぎてしまうことがある

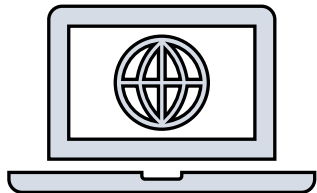
▶ 「なぜこの情報は広まってしまったのか？」など正解のない問いを深く議論できるお題が好ましい

## 下記3つのポイントを授業担当者として抑えることが質の高い授業につながる



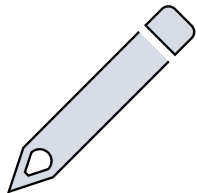
### ポイント①： 言葉遣いと態度に気を付ける

- ▶ 学年特性に応じた言葉遣いや態度を意識し、各学年の理解度や興味関心に適応した対応をする



### ポイント②： 講師側自身の情報アップデートを心がける

- ▶ サイバー犯罪の情勢は日々変化しているため、講師自身も最新情報を日々学び、難しい質問にも対応できるようにする



### ポイント③： 授業準備を怠らない

- ▶ 実際の授業ではアクシデントがつきもののため、授業実施前に通しでの練習や各種連絡・調整を怠らないようにする